

## ■小名浜工場



東工場長



小名浜工場は東北地方最南部の太平洋に面した、福島県いわき市の小名浜臨海工業団地内に位置しています。いわき市は日照時間が日本で最も長く、降水量は最も少ない地域で、一年を通じて過ごしやすいことから、「東北の湘南」と称され、日本有数の快適な環境を誇っています。

小名浜工場は1990年の操業開始以来、着実に規模を拡大し、成長を続けており、現在は印刷インキ用樹脂や製紙用薬品、塗料用樹脂、光硬化型樹脂などを製造しています。

2009年度の環境負荷低減活動では、省エネルギー、廃棄物削減に取り組みました。積極的に省エネ型機器の導入を行い、

廃棄物削減では、集じん機で捕集される樹脂粉や、ポリ容器のリサイクル化、排水処理設備から出る汚泥低減対策などを進めました。特に樹脂粉のリサイクル化では再利用先を探索し、再利用先と共同でテストを続けた結果、従来廃棄していた樹脂粉を全量リサイクルできるようになり、大きな成果を上げることができました。

日本有数の快適環境を誇る地域社会との調和を目指し、2010年度もリデュース、リユース、リサイクルをキーワードに、さらなる環境負荷低減に取り組んでいきます。

所在地：福島県いわき市泉町下川字大観399-5  
 設立：1989年11月  
 敷地面積：90,320m<sup>2</sup>  
 従業員：社員56名、協力会社員・パート20名

### ●環境パフォーマンス

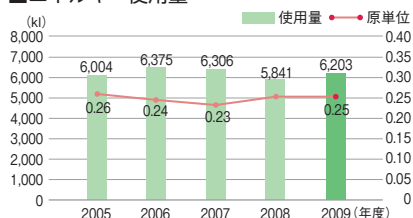
インプット	エネルギー	電力 (GWh)	9.8
		化石燃料 (千kl)	3.7
	合計 (千kl原油換算)	6.2	
水資源	水道水 (千m <sup>3</sup> )	6.8	
	工業用水 (千m <sup>3</sup> )	510.6	
	地下水 (千m <sup>3</sup> )	0.0	
原材料 (千t)		25.7	
アウトプット	大気への環境負荷	CO <sub>2</sub> (千t)	14.6
		NOx (t)	11.6
		SOx (t)	3.7
		PRTR物質 (t)	2.3
	水域への環境負荷	COD (t)	1.1
		SS (t)	0.4
		排水 (千m <sup>3</sup> )	100.9
		PRTR物質 (t)	0.0
	産業廃棄物	社内発生量 (t)	2,728.0
		工場排出量 (t)	1,061.0
うちPRTR物質移動量 (t)		1.1	
最終埋立量 (t)		24.0	
製品 (千t)		34.0	

### ●工場トレンド

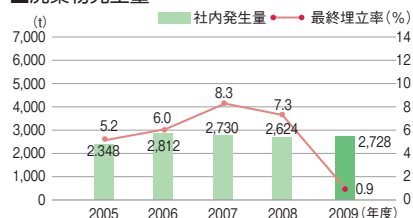
#### ■CO<sub>2</sub> 排出量



#### ■エネルギー使用量



#### ■廃棄物発生量



### 私たちの温暖化対策

## 廃棄物削減で、省エネ効果を発揮

小名浜工場では、排水処理設備において廃棄物の削減を省エネルギーに結びつけています。

まず、排水処理量に応じて添加する凝集剤量が加減されるように設備を自動化し、それまで過剰に添加されていた凝集剤の量を適正化しました。次に、従来使用していた無機系の凝集剤に少量の有機系凝集剤を併用添加することで、無機系凝集剤の大幅な削減を進めました。

無機系凝集剤の削減は発生汚泥の減量化につながります。これらの活動により、排水処理場から最終的に排出される廃棄物汚泥量は43%削減となりました。さらに、汚泥の最終処理工程となる醗酵機と乾燥機の運転工程では汚泥処理量の減少にともなって醗酵機の完全停止が可能となり、両設備での電力使用量についても70%の大幅削減を達成しています。

もともと凝集剤添加量の適正化は廃棄物の削減が目的でしたが、省エネルギーの面でも相乗効果で大きな成果につながっています。



排水処理場



紹介者：今野 正樹



汚泥処理設備